



かけはし

創刊号の主な内容

1. 療養通信について
2. センターについて
3. リハビリ検診会 報告
4. 各種検診について
5. 関節エコーについて
6. 緊急時カードについて
7. ホームページについて
8. お知らせください

など

2023年10月創刊号



療養通信「かけはし」について

肝炎（かんえん）・血友病（けつゆうびょう）・HIV/AIDS（H/A：は）等の疾患に向き合う患者さんが、より良い生活を送れるように支援（しえん）し、医療者と患者さんとの懸け橋となるような療養通信にしたいという願いを込めて、「かけはし」と名付けた通信を発行することになりました。

どうぞよろしくお願いいたします。

か：肝炎
け：血友病
は：HIV/AIDS（HA）
し：支援



HIV 診療支援センターについて

当院は平成9年4月にエイズ診療ブロック拠点病院として指定されて以来、HIV感染症対策委員会が主体となり HIV 感染症 / エイズ診療に積極的に取り組んできました。平成28年7月には院内の複数部署の連携を基に患者さんのさらなる包括的な診療・支援を

行うことを目的として、HIV 診療支援センターが設置されました。センターを中心として、患者さんが必要な治療を受けられ、日常生活で生じる悩みや困りごとに対して解決への道を探し、住み慣れた地域での生活を続けられるよう支援に努めてまいります。

職種紹介



医師

当院では、血液内科 / HIV 診療支援センターの医師が薬害患者さんの HIV 感染症 / 血友病およびその合併症に対する診療を担当しています。診療にあたっては、医学的な面だけでなく社会的、精神的な支援も必要であることから、各職種と連携をとりながら診療を行っています。

看護師

治療や今後の生活への不安や悩みをお聞きし、一緒に相談しながら患者さんが望む治療・生活を送ることができるように支援します。病院内や地域の医療関係者・支援者と連携しながら在宅生活をサポートします。

薬剤師

HIV 治療薬を内服する時間の調整、副作用の症状や対処方法、抗 HIV 薬以外のくすりやサプリメントとの飲み合わせの注意点などをわかりやすくアドバイスできるように努めています。

ソーシャルワーカー

病気等によって生じる患者さん・そのご家族の療養・生活上の心配や困りごとについて相談をお受けする職種です。また、各職種との連携はもとより北海道 HIV 福祉サービスネットワークを立ち上げ、地域の関係機関とのつながりを大切に活動しています。

臨床心理士

長期療養においてメンタルヘルスのケアは大切です。生活の中で溜まっていくストレスや、頭の中や気持ちの整理に「話すこと」が役立つ場合があります。状況に応じたメンタルヘルスケアのお手伝いができればと思います。



長期療養とりハビリ検診会 報告

当院では、年 1 回リハビリ検診会を行い、関節の可動域や歩行状態などをチェックする身体機能評価を行っています。個別検診は 7 月からスタートしていましたが、9 月 30 日に 4 年ぶりとなる集合検診会を開催しました。コロナ対策として、午前開催で

参加人数も少ない中ではありましたが、ご自身の体の状態をチェックしつつ、患者さん同士や、患者さんと医療者の交流機会にもなりました。来年も集合検診を企画しますので、参加をご検討ください。

長期療養とリハビリ検診会



各種検診について

年齢を重ねていくと血友病・HIV 感染症・C 型肝炎だけではなく、がんや、心筋梗塞など様々な合併症がみられるようになってきます。北海道大学病院では、合併症を早期に発見して適切な時期に治療を行えるように下記のような検診を行っております。

がん検診

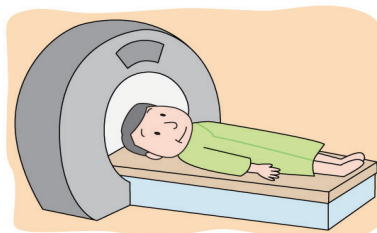
「血友病 HIV 感染者に対する癌スクリーニング法と非侵襲的治療法の確立に関する研究班」が推奨している内容をもとに適宜外来で行っています。内容としては、胸部腹部造影 CT・胃カメラ・便潜血検査・腫瘍マーカー（採血）などです。

脳 MRI

加齢にともない、症状がなくても微小脳出血というものが見られるようになってきます。微小脳出血があると、その後に症状のある脳出血を起こす危険が高いといわれています。微小脳出血があるかどうかを確認することは、血友病治療や生活習慣の見直しにつながることがあります。

冠動脈 CT

血友病の患者さんは出血性疾患が目目されますが、高齢化に伴い、心筋梗塞のような虚血性疾患も無視できなくなっています。冠動脈 CT では、心臓の血管の詰まり具合を調べることができます。



これらの検診は、北海道大学病院以外に通院中の血友病薬害被害者の方も参加できますので、ご興味のある方は、主治医または北海道大学病院の相談室にご連絡ください。



当院では、2023 年 4 月から血友病性関節症に対する関節エコーを導入いたしました。関節エコーは、まだ関節の症状がない患者さんに対して、早期の関節症を見つけるのに役立つと言われております。すでに関節症がある患者さんでの有用性は明らかではありませんが、関節

の状態が点数化されるため、関節の状態の維持の目標になると考えております。それぞれの関節に対して最大 8 点で、0 点が関節症なし、8 点が高度な関節症を意味します。検査時間は 30 分ほどかかりますが、侵襲の少ない検査ですので、是非受けていただきたいと思います。



緊急時カード お持ちですか？

緊急時に迅速な止血管理につなげられるように、緊急時カードを携帯しましょう。交通事故などの予測不能な出来事や、突然の出血はいつ起きるかわかりません。救急対応を行う医療機関が、血友病診療の経験が少なかったり、凝固因子製剤を常備していない場合もあります。患者さんご自身やご家族が、血

友病のため凝固因子製剤が必要なことを医療者や救急隊に伝えることが重要です。可能であれば手持ちの凝固因子製剤を持参してください。当院作成の緊急時カードを準備しております。ご本人用とご家族用がありますので、ご希望の方は相談室スタッフまでご連絡ください。

+緊急時カード+	
血液凝固障害のある患者です	
交通事故、外傷、頭蓋内出血など、緊急の場合は凝固因子製剤の投与などの処置を要しますので、下記の医療機関までご連絡下さい。	
医療機関名	
緊急時に連絡する医療機関名	
診療科	電話番号
	・日 中
	科 ・夜間・休日
担当医名	ID番号
	先生

ご本人用 表面

氏 名	年 月 日生	血液型	型Rh()
病 名	血友病(A・B), フォン・ヴィーランド病, その他()		
	重症・中等症・軽症 インヒビター(有・無)		
使用製剤			
定期投与()	()	mg・単位	
出血時投与()	()	単位	
<緊急連絡先>			
電話	氏名	(続柄)	()

ご本人用 裏面

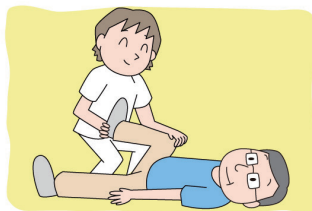


ホームページに患者さん向けページを追加しました

健康管理・メンタルヘルスクア・緊急時カードについて掲載しているセルフケアのページや、各種検診・リハビリ検診 / 外来リハビリ・自宅訪問についてご案内している支援事業のページがあります。さらに、2022年に発足した医療支援プロジェクトのご案内

や、ご利用できる社会福祉制度についても掲載しております。また、この療養通信もWEBサイトから閲覧可能ですので、ぜひご覧ください。

<https://www.hok-hiv.com/>



リハビリ



自宅訪問



お知らせください

当院では入院時は原則個室対応としております。ご自身の病状に応じて検査や治療など様々な科に入院する場合があります。入院が決まった際には看護師にお知らせください。個室のことや入院に関する不安など、病棟と連携し安心して入院生活をおくれる

ようにいたします。また、他の科を受診する場合も気になることや受診に際して不安がある場合は、看護師や相談室スタッフにお知らせください。安心して受診できるよう支援いたします。

発行元・お問い合わせ先

北海道大学病院 相談室
札幌市北区北14条西5丁目
TEL: 011-706-7025

WE bサイトからも閲覧可能です

